

SMZ-2014C
オートスライダー操作器
取扱説明書

株式会社サンコーデバイス

東京都板橋区成増 4-26-5

TEL : 03-3938-5440

FAX : 03-3939-2102

■概要

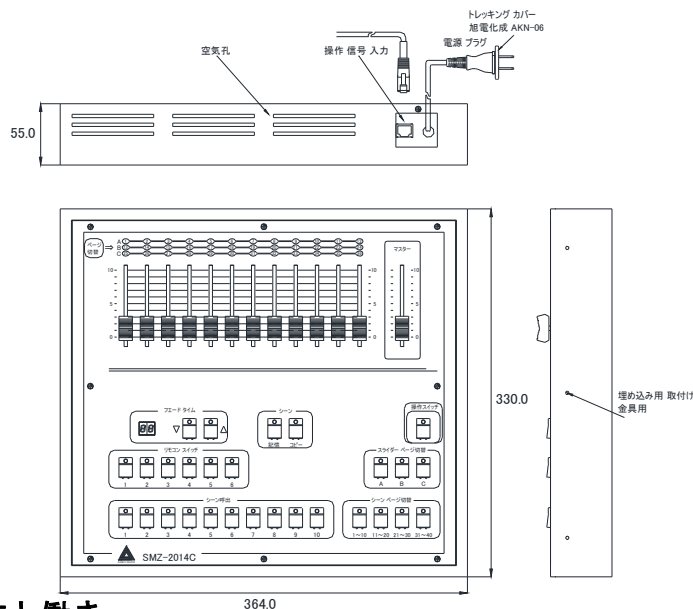
◆オートスライダー操作器は、調光シーンにより電動で自動的にスライダーがスライドしシーンを再現するメモリー操作卓です。

■特長

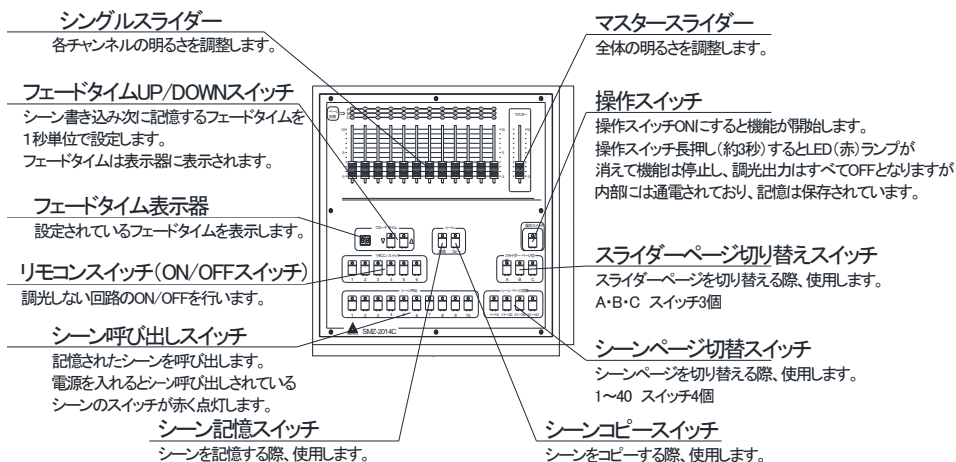
◆オートスライダー操作器はシーンを呼出すと自動的にスライダーが動きシーンを再現します。このことにより、従来の様に全てのスライダーを動かしてシーンを再現するといった煩雑で時間の掛る作業が必要なくなり、誰でも簡単、確実に早くシーンを修正する事が出来ます。又、スライダーが動きシーンを再現する為、実際に目で見て各チャンネルの調光レベル、シーンの内容を確認することが出来ます。

◆LED照光スイッチを使用しておりオンで赤色に点灯し、状態が一目で確認出来る様簡単で使いやすい又、大変分かりやすい操作卓となっております。

■外観図



■各部の名称と働き



■LANケーブルの接続

LANケーブル（別売）カテゴリ5（CAT5）以上のケーブルをご用意上、背面のLANケーブル端子にLANケーブルを差し込む。

■電源コードの接続

背面の電源コードの電源プラグをAC100V（50Hz/60Hz）のコンセントに差し込む。

注意!! LANケーブルを接続する時には必ず電源をオフにして作業を行って下さい。

■操作方法

●操作の流れ（シーン作成から記憶までの流れ）

LANを接続する。電源を投入して操作できる状態にする。

- LANの接続
- 電源の入れ方

書込みしたいシーンを呼出す。

- シーンの呼出し

シーンを作成する。

- シーンの作成
- （各スライダーで明るさを調整する）
- 各チャンネル毎の明るさの調整方法（シングルスライダーの操作方法）
- チャンネルを一括した明るさの調整方法（マスタースライダーを使用した操作方法）
- リモコン回路のON/OFF方法（リモコンスイッチについて）

フェードタイム（作成したシーンに切り替えるのに要する時間）を設定する。

- フェードタイムの設定

シーンを記憶させる。本機に書込む

- シーンの書込み

●シーンの作成

○各チャンネル毎の明るさの調整方法（シングルスライダーの操作方法）

シングルスライダーを操作すると、そのチャンネル単独の照明の明るさを変えることができます。スライダーは、下側にスライドさせると照明は暗く、上側にスライドさせると明るくなります。

○チャンネルを一括した明るさの調整方法（マスタースライダーを使用した操作方法）

マスタースライダーを操作すると、シングルスライダー全てをマスタースライダーにて明るさを変化させることができます。但し、この時シングルスライダーは自動で移動しません。明るさを調整後、一度シーンを書込みしてから再度シーンを呼出すと各シングルスライダーは設定された明るさの位置まで移動します。

注意 ⚠ マスタースライダーを0（一番下）にしていると、シングルスライダー（調光回路12チャンネル）は出力されません。

○リモコン回路のON/OFF方法（リモコンスイッチについて）

リモコンスイッチを押すとスイッチの内照が赤色に点灯し、直点灯用の回路に接続されている負荷が点灯します。もう一度押すとスイッチの内照が消灯し、負荷が消灯します。

○シーンスイッチへリモコンスイッチを記憶させる方法について

先ず入力したいシーンのシーンスイッチを押してシーンを選択します。内照が点灯します。

次に入力したい動作のリモコンスイッチを押します。スイッチの内照が点灯します。

そして、シーン書込みスイッチを押す事により内容が記憶されます。尚、別のシーンを記憶させる時にリモコンスイッチが点灯の状態の時は、その内容が記憶されます。記憶させたくない場合は、もう1度スイッチを押して内照が消灯の状態に戻して下さい。

○フェードタイムの設定

フェードタイム（シーンの切り替りに要する時間）は、1秒単位にて0～99秒まで設定する事が出来ます。

○フェードタイム設定スイッチの△アップスイッチを押すと照光ランプが赤色に点灯しフェードタイムが長くなります。内照はオフ状態時、消灯します。

○フェードタイム設定スイッチの▽ダウンスイッチを押すと照光ランプが赤色に点灯しフェードタイムが短くなります。照光ランプはオフ状態時、消灯します。

⚡ フェードタイム設定スイッチ（アップまたはダウンスイッチ）で設定したフェードタイム（0～99秒）は横のフェードタイム表示器に表示されます。

⚡ アップまたはダウンスイッチ共、押し続けるとフェードタイムの数字は早く変わってゆきます。

○シーンの書込み

書込みをしたいシーンナンバーを選択し、個々のチャンネルの明るさの設定・フェードタイム設定を行います。「記憶」スイッチを押すとブザー音が鳴り、設定したシーンが記憶されます。

●電源の入れ方

操作スイッチを押すと操作可能オン状態になり、操作スイッチ内照ランプとオン状態の各スイッチ内照ランプが赤色に点灯します。その他のオフ状態のスイッチ内照は緑色に点灯します。もう一度押すとオフ状態になり、スイッチ内照ランプが消え操作することが出来なくなります。

注意 ⚠ オフ状態になると出力は全てオフになり暗転します。

注意 ⚠ 電源投入時には、シーン1のシーンが自動的に呼び出される様に設定してあります。

●シーンの呼出し

呼び出しをしたいシーンのシーン呼び出しスイッチを押すとシーン呼び出しスイッチの内照が赤く点灯し記憶されたフェードタイムで、各シングルスライダーが自動で移動、調光シーンを再現します。スライダーが止ったら、シーン呼び出し完了です。

⚡ シーン呼び出しスイッチを押し、自動でシングルスライダーが動作している途中であっても手動操作（スライダー、リモコンスイッチの操作）を行なうことができます。

注意 ⚡ 電源投入時には、シーン1のシーンが自動的に呼び出される様に設定しています。

この時シーン呼び出しスイッチ1の内照及び、シーン1にて選択されている分のスイッチの内照が赤色に点灯します。選択されていない照光ランプは消灯します。

●シーンの編集

○シーン内容の変更

変更したいシーンを呼び出してスライダーを操作し、シーンやフェードタイムを変更してからシーンの書込みを行います。

○シーンのコピー

1. シーン呼び出しスイッチにて コピーをしたい元のシーンを選択 します。
2. コピースイッチを押します。

シーン呼び出しスイッチにて コピー先のシーンを選択すると、調光データー及びフェードタイムがコピーされます。コピー先のシーンを複数選択する事も可能です。

●キーロック機能

○キーロックの有効

コピースイッチを押しながら△アップキーを押すと キーロック機能が有効になります。キーロック機能有効中は、フェードタイムの設定、シーンの記憶、シーンのコピーが出来なくなり、記憶スイッチの内照が 消灯します。

○キーロックの解除

コピースイッチを押しながら▽ダウンキーを押すと キーロック機能が解除になります。通常モードに戻り、記憶スイッチの内照が 点灯します。

■ ご使用上の注意

◆ 電源について

- ◇ 電源プラグは、必ず AC 100V (60Hz または 50Hz) の電源コンセントに差込んで下さい。
- ◇ 電源コードの上に重いものをのせたり、踏みつけたりして、傷をつけないで下さい。
- ◇ 電源プラグをコンセントから抜く場合は、電源コードの断線やショートによる危険防止の為、必ず電源プラグを持って下さい。
- ◇ 雑音を発生する装置 (モーター、調光器など) や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントをご使用下さい。

◆ 設置について

- ◇ 温度が極端に高い場所 (直射光の当る場所、暖房器具の近く、発熱する機器の上など) や、極端に低温での使用や保管は避けて下さい。(温度条件 10~35℃)
- ◇ 水気の近く (濡れた床など) や湿度の高い場所、ホコリの多い場所は避けて下さい。
湿度条件 (20~80%)
- ◇ 衝撃や振動の多い場所は避けて下さい。
- ◇ 強い磁気を発生する機器の近くでは使用しないで下さい。

◆ 信号線の設置工事について

- 重要** ☞ 信号線は商用電源 (供給電源、負荷) と 50cm 以上離して施工して下さい。
配管等の工事では必ず信号線と商用電源は同配管にしないで下さい。
操作と異なった動作が起きたり ちらつき の原因となります。

◆ お手入れについて

- ◇ 通常のお手入れは、柔らかい布で空拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取って下さい。
汚れが激しい時は、中性洗剤で汚れを拭き取ってから、必ず柔らかい布で空拭きしてください。
- ◇ ベンジン、シンナー及びアルコール類は使用しないで下さい。

■ 定格及び仕様

制御チャンネル 調光制御回路 36 チャンネル (12 チャンネル×3 ページ切替)
リモコン制御回路 6 チャンネル

シングルスライダー 12 本 **マスタースライダー** 1 本

記憶シーン 40 シーン (10 シーン×4 ページ切替)

出力信号 DMX-512

電源 単相 2 線 AC100V 50/60Hz

本体寸法 W330 mm×H364 mm×D55 mm **本体重量** 約 5 Kg

本体塗装色 黒半ツヤ **本体材質** スチール